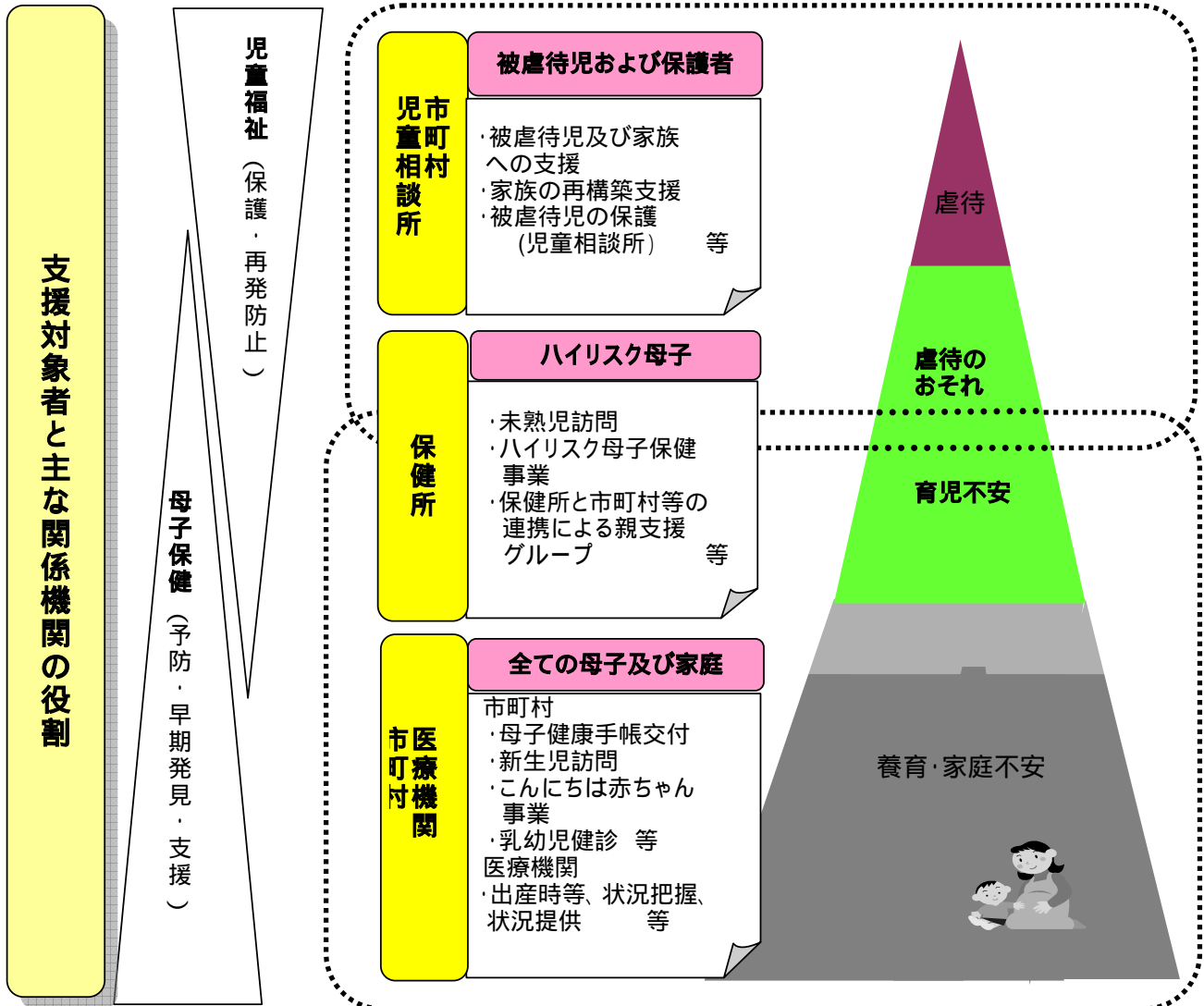


長野県における児童虐待対策について

こども・家庭課

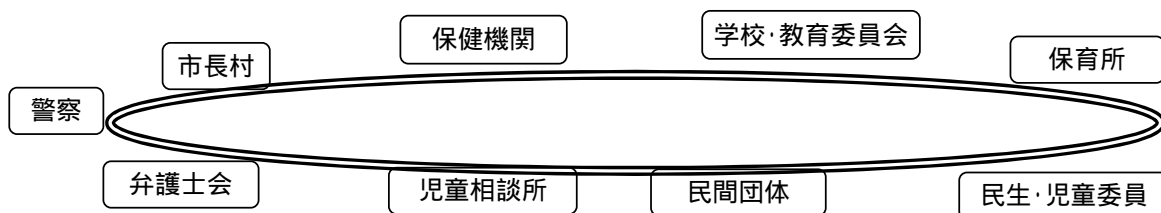
平成22年度から母子保健と児童福祉の担当課及び係を統合した。
このことから、こどもの虐待を未然に防ぐ予防対策から早期発見、早期対応等、虐待を受けた子どもとその保護者への支援に係る関係機関の連携をより強化し、一貫した支援を実施する。



参考

要保護児童対策地域協議会について (児童福祉法第25条の2)

要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、市町村等が設置し、関係機関が連携し当該児童等に関する情報、考え方などを共有し、支援を行う。



県と民間虐待防止団体との連携に関する協定締結について


平成 22 年 6 月

健康福祉部こども・家庭課

1 協定締結の目的

県と「長野県子どもを虐待から守る民間ネットワーク」(代表 有吉美知子氏)との連携をよりいっそう強化し、相互の役割を補完することで、児童虐待の予防、早期発見、保護者への援助など、より効果的な対応を図る。

| | 児童相談所 | 民間団体 |
|-----|--------------------------------------|---|
| 特 性 | 法的権限を有する。 守秘義務が課せられている。 | 相談者にとって、民間ゆえの気軽さがあり相談しやすい。 機動性・柔軟性がある。 |
| 課 題 | 強い権限があるため、相談することを躊躇されたり、保護者との軋轢が生じる。 | 知名度が低い。 守秘義務がない。 |

| | |
|---|---|
|  | 協定締結 法的要請 「児童虐待の防止等に関する法律」(平成 12 年法律第 82 号) 国・地方公共団体の責務 ・関係機関及び民間団体との連携の強化 ・児童虐待防止等のために必要な体制の整備 等 |
|---|---|

| | |
|------|---|
| 主な効果 | 多彩な相談窓口が周知されることで、予防や早期発見につなぐことができる。 より効率的・効果的な広報・啓発活動が展開できる。 情報の共有や研修により支援の向上につながる。 |
|------|---|

2 協定の主な内容

- (1) 児童虐待の予防に関する広報・啓発活動
- (2) 多彩な相談窓口の確保
- (3) 子育てに悩む保護者等に対する支援

3 長野県子どもを虐待から守る民間ネットワークの概要

(1) 結成目的

長野県における子どもの虐待を防止し、子どもが健全に成長発達することができる社会を築く。

(2) 代表 有吉美知子氏 (弁護士・ながの子どもを虐待から守る会会長)

(3) 設立日 平成 19 年 10 月

(4) 主な活動

ア 子ども虐待に関する啓蒙活動

イ 子ども虐待に関する情報収集とその提供

ウ 子ども虐待に関する調査・研究・提言

(5) 構成団体 (設立順)

| 団 体 名 等 | 事 務 局 |
|--|---|
| 南信子どもの虐待防止研究会 (NOPCAN) 代表 北山秋雄氏 (長野県看護大学教授) 平成 8 年 7 月 30 日設立 会員数約 30 人 | 駒ヶ根市赤穂 1694 (長野県看護大学研究室内) http://www.janis.or.jp/users/nopcan04/ |
| ながの子どもを虐待から守る会 会長 有吉美知子氏 (弁護士) 平成 9 年 6 月 10 日設立 会員数約 130 人 | 長野市若里 7 1 5 http://www.valley.ne.jp/~n-mamoru/ |
| CAPS・すわ 代表 宮原規夫氏 (信濃医療福祉センター臨床心理士) 平成 12 年 5 月 27 日設立 会員数約 40 人 | 諏訪郡下諏訪町社字花田 6525 1 (信濃医療福祉センター内) ホームページなし |
| 子どもを虐待から守る会・まつもと 会長 上條剛氏 (弁護士) 平成 17 年 3 月 6 日設立 会員数約 100 人 | 松本市出川 2 24 14 http://mamorukai.ojaru.jp/ |

平成 21 年度の児童虐待相談件数は 517 件、DV(配偶者からの暴力:ドメスティック・バイオレンス)相談件数は 1,805 件です。

県の児童相談所及び女性相談センター等で受け付けた相談件数がまとまりましたのでお知らせします。

- 1 平成 21 年度の児童相談所(5 所)で受け付けた児童虐待相談件数は、517 件(対前年度比 97.5%)です。(資料 1)
- 2 平成 21 年度の女性相談センター等の相談機関で受け付けた DV 相談件数は、1,805 件(対前年度比 103.3%)です。(資料 2)
- 3 平成 21 年度の「児童虐待・DV24 時間ホットライン」の通告・通報・相談件数は 1,098 件(対前年度比 105.4%)です。(資料 3)

(参考) 県内の相談体制

- 1 児童虐待の相談、通告は児童相談所、福祉事務所、市町村等で受け付けています。虐待を発見した時や、虐待でないかと疑われる場合には、速やかに通告をお願いします。(資料 4)
- 2 児童相談所では、個人が特定できない場合等を除き、虐待通告から 48 時間以内に、職員又は児童相談所が依頼した者により、児童の安全確認を行います。
- 3 DV 被害者の相談については、女性相談センター、男女共同参画センターを「配偶者暴力相談支援センター」と位置付け、相談に応じるとともに、保健福祉事務所及び市福祉事務所に配置している女性相談員も相談に応じています。
- 4 「児童虐待・DV24 時間ホットライン」では、児童虐待通告及び DV 被害に関する通報並びに相談を、24 時間電話により専任の電話相談員が受け付けています。 電話 0263-91-2410



オレンジリボンマーク

オレンジリボンには
子ども虐待を防止する
というメッセージが
込められています。

健康福祉部 子ども・家庭課
保育係 子ども・母子保健係
(課長) 金原 健次 (担当) 伊藤 澄江 大宮 剛
電話:026-235-7098、026-235-7099(直通)
〔代表〕026-232-0111(内線 2354、2360)
FAX:026-235-7390
E-mail:kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp

県内児童相談所における児童虐待相談とその推移（過去5年間）

こども・家庭課

1 相談件数の推移

(単位: 件)

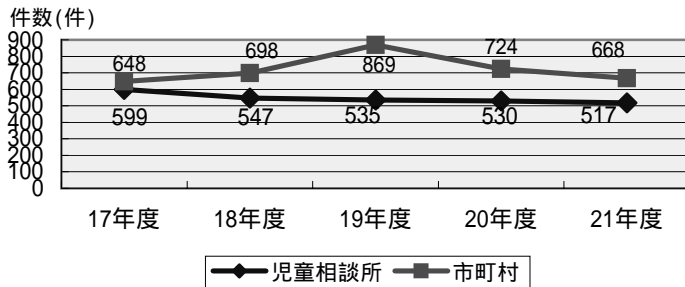
| 年度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 長野県 | 599 | 547 | 535 | 530 | 517 |
| 対前年比 | 117.7% | 91.3% | 97.8% | 99.1% | 97.5% |
| 全国 | 34,472 | 37,323 | 40,639 | 42,664 | - |
| 対前年比 | 103.2% | 108.3% | 108.9% | 105.0% | - |

参考) 県内市町村における児童虐待相談件数とその推移

| 年度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|-------|-----|--------|--------|-------|-------|
| 件数(*) | 648 | 698 | 869 | 724 | 668 |
| 対前年比 | - | 107.7% | 124.5% | 83.3% | 92.3% |

*市町村の対応件数について、福祉行政報告例により厚生労働省に報告するようになったのは平成18年度からのため、平成17年度については県独自調査の参考値です。また、平成21年度については速報値です。

長野県



児童相談所における児童虐待相談件数は年々増加の一途をたどり、平成17年度に最多の599件となりましたが、平成18年度から減少となり、平成21年度は517件(対前年比97.5%)と若干の減少傾向となっています。

一方、平成17年度から児童家庭相談に応じることになった、住民に身近な市町村の相談件数は、平成19年度に最多の869件となりましたが、平成20年度から減少となり、平成21年度は668件(対前年比92.3%)となりました。

しかし、経済状況の低迷が続き、生活不安や子育ての負担感が増すこととなり、虐待のリスクが高まることから、県、市町村等関係機関が一体となって、虐待の発生予防、早期発見・早期対応に努めることが必要です。

2 児童虐待区分別相談件数の推移

(単位: 件)

| 年度 | 計 | 身体的虐待 | 保護の怠慢・拒否 (ネグレクト) | 性的虐待 | 心理的虐待 |
|----|-----|----------------|---------------------|--------------|----------------|
| 17 | 599 | 277 (46.2%) | 227 (38%) | 14 (2.3%) | 81 (13.5%) |
| 18 | 547 | 261 (47.7%) | 174 (31.8%) | 9 (1.7%) | 103 (18.8%) |
| 19 | 535 | 200 (37.3%) | 183 (34.2%) | 26 (4.9%) | 126 (23.6%) |
| 20 | 530 | 200 (37.7%) | 159 (30.0%) | 24 (4.5%) | 147 (27.8%) |
| 21 | 517 | 183 (35.4%) | 189 (36.5%) | 21 (4.1%) | 124 (24.0%) |

虐待の区分別相談件数では、「身体的虐待」と「保護の怠慢・拒否(ネグレクト)」とを合わせた構成比が約70%を占めています。

虐待は、家庭の中で行われているため、外からは見えにくいことが特徴ですが、とりわけ「性的虐待」は、その事実の確認が非常に困難なことが多く、その対応は、教育、医療、司法、警察等の関係機関との連携により慎重に行う必要があります。

3 相談経路別件数の推移

(単位：件)

| 区分 年度 | 家族 親戚 | 児童 本人 | 近隣 知人 | 市町 村等 | 福祉事 務所等 | 医療 機関 | 福祉 施設等 | 警察等 | 学校等 | その他 | 計 |
|----------|----------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 17 | 54 | 4 | 41 | 199 | 29 | 39 | 57 | 33 | 117 | 26 | 599 |
| 18 | 54 | 6 | 31 | 162 | 23 | 24 | 40 | 39 | 118 | 50 | 547 |
| 19 | 75 | 5 | 33 | 164 | 33 | 16 | 24 | 60 | 80 | 45 | 535 |
| 20 | 75 | 8 | 22 | 169 | 27 | 13 | 27 | 54 | 69 | 66 | 530 |
| 21 | 70 | 5 | 37 | 137 | 11 | 33 | 28 | 56 | 92 | 48 | 517 |

*市福祉事務所、児童委員は「市町村等」に、保健所は「福祉事務所等」にそれぞれ計上。

相談経路別では、市町村等（137件）、学校等（92件）、家族親戚（70件）の順となっており、学校等と医療機関からの相談件数の増加が目立ちます。

通告は親子を救う契機です。虐待による被害を防ぐために、虐待の事実が必ずしも明らかではなくても虐待が疑われるような状況であれば躊躇せずに通告してください。

4 主な虐待者の推移

(単位：件)

| 年度 | 区分 | 実父 | 実父以 外の父 | 実母 | 実母以 外の母 | その他 | 計 |
|----|-----|-------|------------|-------|------------|------|--------|
| 17 | 件数 | 149 | 34 | 379 | 13 | 24 | 599 |
| | 構成比 | 24.9% | 5.7% | 63.3% | 2.1% | 4.0% | 100.0% |
| 18 | 件数 | 156 | 33 | 322 | 9 | 27 | 547 |
| | 構成比 | 28.5% | 6.0% | 58.9% | 1.6% | 5.0% | 100.0% |
| 19 | 件数 | 157 | 32 | 306 | 19 | 21 | 535 |
| | 構成比 | 29.3% | 6.0% | 57.2% | 3.6% | 3.9% | 100.0% |
| 20 | 件数 | 160 | 45 | 296 | 8 | 21 | 530 |
| | 構成比 | 30.2% | 8.5% | 55.8% | 1.5% | 4.0% | 100.0% |
| 21 | 件数 | 123 | 36 | 328 | 5 | 25 | 517 |
| | 構成比 | 23.8% | 7.0% | 63.4% | 1.0% | 4.8% | 100.0% |

実母からの虐待が63.4%と最も多く、次いで実父が23.8%となっており、この割合に大きな変動はありません。

妊娠や出産に悩みを抱える女性に対する相談支援の取り組みなど、妊娠期からの切れ目のない支援体制を構築していく必要があります。

5 被虐待児の年齢の推移

(単位：件)

| 年度 | 区分 | 0歳～3歳未満 | 3歳～学齢前 | 小学生 | 中学生 | 高校生他 | 計 |
|----|-----|---------|--------|-------|-------|------|--------|
| 17 | 件数 | 89 | 173 | 236 | 85 | 16 | 599 |
| | 構成比 | 14.8% | 28.9% | 39.4% | 14.2% | 2.7% | 100.0% |
| 18 | 件数 | 77 | 136 | 229 | 75 | 30 | 547 |
| | 構成比 | 14.1% | 24.8% | 41.9% | 13.7% | 5.5% | 100.0% |
| 19 | 件数 | 78 | 119 | 213 | 93 | 32 | 535 |
| | 構成比 | 14.6% | 22.2% | 39.8% | 17.4% | 6.0% | 100.0% |
| 20 | 件数 | 100 | 118 | 196 | 81 | 35 | 530 |
| | 構成比 | 18.9% | 22.2% | 37.0% | 15.3% | 6.6% | 100.0% |
| 21 | 件数 | 90 | 124 | 193 | 77 | 33 | 517 |
| | 構成比 | 17.4% | 24.0% | 37.3% | 14.9% | 6.4% | 100.0% |

被虐待児を年齢別にみると、小学生が37.3%と最も多く、次いで3歳から学齢前児童が24.0%、3歳未満が17.4%となっています。

虐待の発生予防の観点からは、「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」の徹底などによる、育児期における母親の孤立化の防止が重要であり、今後も市町村等と連携を十分に図っていく必要があります。また、就学前の乳幼児と日常的な接点がある保育所や幼稚園をはじめ、学校等教育機関との連携も欠かせません。

6 虐待相談対応状況の推移

(単位：件)

| 年度 | 施設入所 | | 里親委託 | | 面接指導 | | その他 | | 計 |
|----|------|-------|------|------|------|-------|-----|------|-----|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | |
| 17 | 60 | 10.0% | 1 | 0.2% | 517 | 86.3% | 21 | 3.5% | 599 |
| 18 | 57 | 10.4% | 1 | 0.2% | 479 | 87.6% | 10 | 1.8% | 547 |
| 19 | 69 | 12.9% | 2 | 0.4% | 436 | 81.5% | 28 | 5.2% | 535 |
| 20 | 71 | 13.4% | 5 | 0.9% | 416 | 78.5% | 38 | 7.2% | 530 |
| 21 | 66 | 12.7% | 3 | 0.6% | 415 | 80.3% | 33 | 6.4% | 517 |

相談の対応状況では、子どもが在宅のまま支援を受ける面接指導の構成比が80.3%となっています。虐待を受けた子どもや家族への養育支援を行うためには、地域の関係機関の連携が不可欠であり「要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）」が果たす役割は大きくなっています。

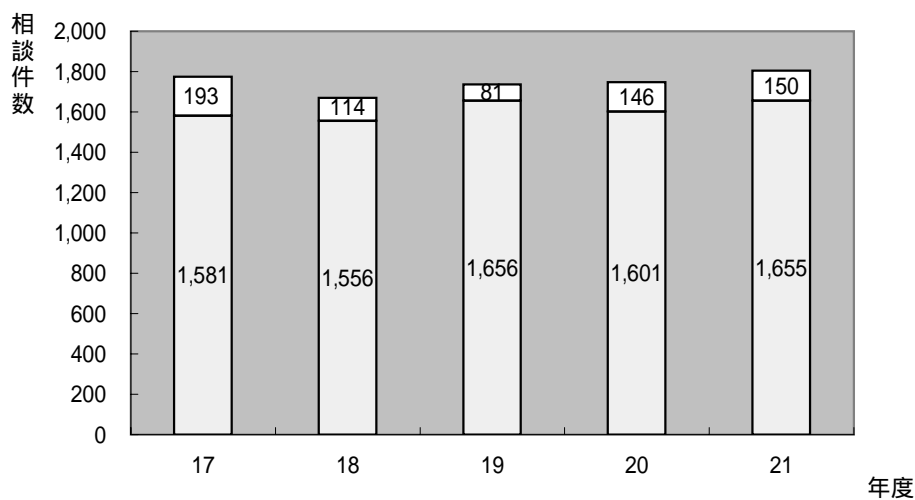
長野県内におけるDV相談件数とその推移（過去5年間）

こども・家庭課

1 DV相談件数

(単位:件)

| 年度 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 女性相談センター取りまとめ分* | 1,581 | 1,556 | 1,656 | 1,601 | 1,655 |
| 男女共同参画センター取りまとめ分 | 193 | 114 | 81 | 146 | 150 |
| 計 | 1,774 | 1,670 | 1,737 | 1,747 | 1,805 |



* 「女性相談センター取りまとめ分」は、受付別に女性相談センター受付分、県保健福祉事務所受付分、市女性相談員受付分の合算です。

平成21年度のDV相談は、1,805件で前年度と比較して3.3%増加しました。
 長野県では、女性相談センターと男女共同参画センターを配偶者暴力相談支援センターと位置づけ、DV相談に対応しています。
 DVに関する相談、通報は、これらの配偶者暴力相談支援センターのほか、県保健福祉事務所、市町村でも受け付けております。

平成21年度 「児童虐待・DV24時間ホットライン」受付及び処理状況

子ども・家庭課

1 通告、通報及び相談件数

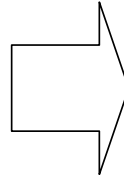
(単位:件)

| | 相談種別 | 対前年度比% | | |
|---------|----------|--------|-------|--------|
| | | 20年度 | 21年度 | 対前年度比% |
| 児童関係 | 児童虐待(通告) | 43 | 36 | 83.7 |
| | 児童虐待(相談) | 106 | 120 | 113.2 |
| | 養育 | 182 | 170 | 93.4 |
| | その他(*1) | 191 | 277 | 145.0 |
| | 小計 | 522 | 603 | 115.5 |
| 女性関係 | DV被害(通報) | 15 | 9 | 60.0 |
| | DV被害(相談) | 116 | 102 | 87.9 |
| | 夫婦問題 | 87 | 90 | 103.4 |
| | 親族の暴力 | 58 | 65 | 112.1 |
| | その他(*2) | 128 | 124 | 96.9 |
| | 小計 | 404 | 390 | 96.5 |
| その他(*3) | | 116 | 105 | 90.5 |
| 合計 | | 1,042 | 1,098 | 105.4 |

2 処理状況(21年度受付分)

(単位:件)

| 緊急連絡 | 助言 | 他機関紹介 | その他 |
|------|-----|-------|-----|
| 36 | 0 | 0 | 0 |
| 24 | 72 | 20 | 4 |
| 92 | 63 | 6 | 9 |
| 148 | 59 | 3 | 67 |
| 300 | 194 | 29 | 80 |
| 9 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 76 | 24 | 1 |
| 0 | 81 | 8 | 1 |
| 3 | 51 | 8 | 3 |
| 6 | 87 | 15 | 16 |
| 19 | 295 | 55 | 21 |
| 0 | 10 | 2 | 93 |
| 319 | 499 | 86 | 194 |



- *1 「児童関係」の「その他」は、虐待以外の児童・生徒に関する相談
- *2 「女性関係」の「その他」は、親族問題、住居問題などの相談
- *3 「児童関係」、「女性関係」以外の「その他」は、無言電話、問い合わせ電話など

平成21年度における電話受付総数は1,098件で、児童関係は603件、女性関係は390件となっており、その内、児童虐待通告は36件、DV被害通報は9件です。
児童関係全体の相談件数は前年度に比較して15.5%増加、女性関係は、3.5%減少しました。児童虐待は通告、相談を合わせると4.7%の増加、DV被害は通報、相談を合わせると15.3%減少しています。

3 相談経路別件数(21年度受付分)

(単位:件)

| | | 本人 | 母親 | 父親 | 親族 | 学校・保育所 | 医療機関 | 市町村 | 隣人・知人 | 警察 | その他(*4) | 計 |
|---------|---------|------|------|----|----|--------|------|-----|-------|----|---------|-------|
| | | 児童関係 | 児童虐待 | 9 | 56 | 13 | 8 | 6 | 6 | 2 | 44 | 9 |
| | 養育 | 4 | 96 | 34 | 2 | 6 | 2 | 2 | 3 | 15 | 6 | 170 |
| | その他(*1) | 70 | 66 | 21 | 1 | 19 | 4 | 7 | 2 | 2 | 85 | 277 |
| | 小計 | 83 | 218 | 68 | 11 | 31 | 12 | 11 | 49 | 26 | 94 | 603 |
| 女性関係 | DV被害 | 89 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 9 | 3 | 1 | 111 |
| | 夫婦問題 | 86 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 90 |
| | 親族の暴力 | 53 | 3 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 65 |
| | その他(*2) | 92 | 4 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 8 | 1 | 13 | 124 |
| | 小計 | 320 | 8 | 3 | 6 | 3 | 1 | 7 | 21 | 7 | 14 | 390 |
| その他(*3) | | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 76 | 105 |
| 合計 | | 428 | 226 | 71 | 17 | 34 | 13 | 18 | 73 | 34 | 184 | 1,098 |

- *1,2,3 上と同じ
- *4 相談経路の「その他」は、元恋人、不明など

相談経路としては、児童虐待は、本人からが9件で、児童虐待全体156件の5.8%で、家族及び親族からが77件で全体の49.4%、隣人及び知人は44件で全体の28.2%を占めています。
一方、女性関係DV被害(配偶者等からの暴力)では、本人からが89件で、DV被害全体111件の80.2%を占めています。